



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

シルバー安曇野

第55号

平成29年8月1日

発行

公益社団法人

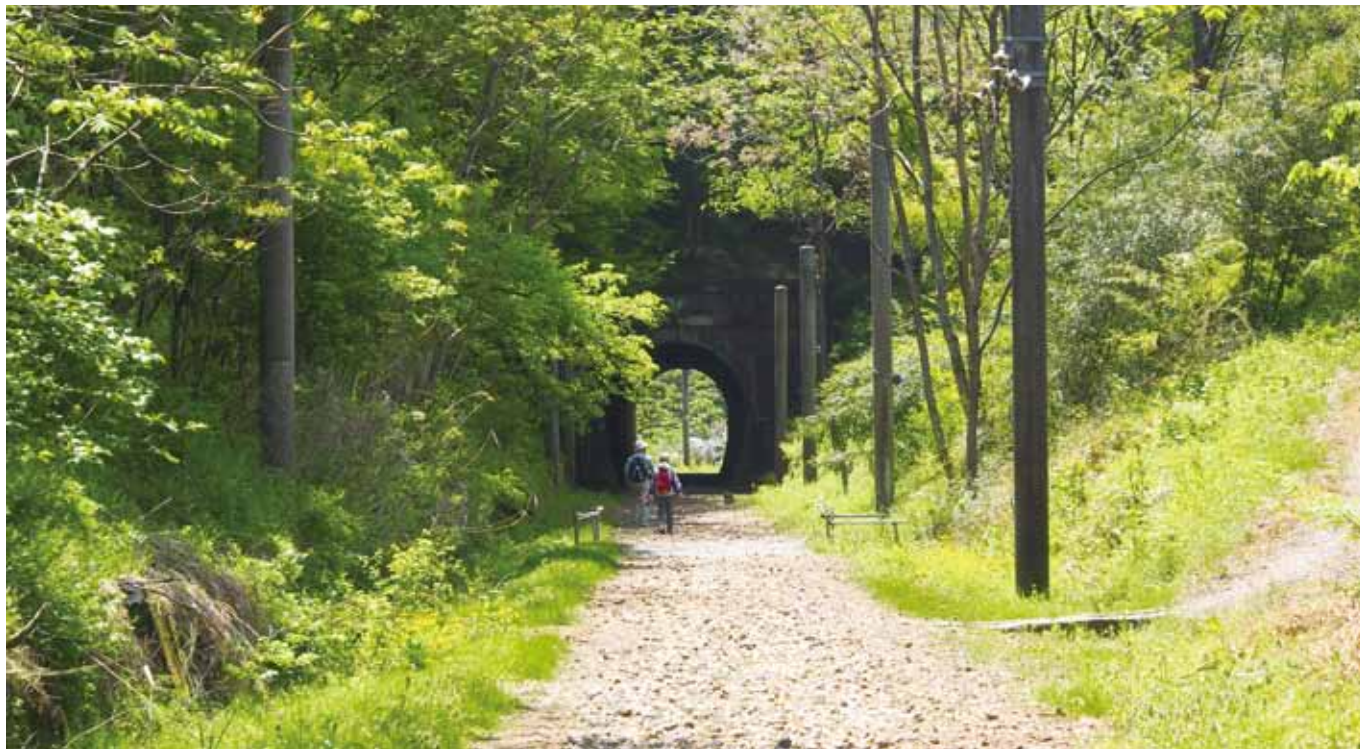
安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科 4155-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



新緑の明科廃線敷

理事長挨拶

理事長 佐々木 胤明



会員の皆さまには、ご健勝のことと、お喜び申し上げます。

5月25日に開催されました、平成29年度の定時総会には、安曇野市長を始めご来賓の皆様のご臨席のもと、多くの会員の参加をいただき、センターの事業に貢献した功労者表彰と、提案しました諸議案の議決承認をいただきましたことに感謝申し上げます。

「安全は、全てに優先する。怪我をしない、させない」を合言葉に、最重要課題として取り組み、地域の皆さまの信頼を得るよう、努めてください。

今年度も、安全、適正就業の深度化をはかり、重点目標として、取り組んで参ります。

前年度の事故件数は、減少しているものの、組織をあげて、事故防止に努めていきたいと思っております。

今後も行政をはじめ、地域の皆さまのご支援と、ご協力をお願いし、会員の皆さまのご健勝と、ご活躍をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。

平成29年度定時総会開催される

当センターの平成29年度定時総会が、5月25日、豊科ふれあいホールで開催されました。総会には、会員120人が出席し、本年度の事業計画や昨年度の収支決算を審議し、承認されました。また、長年会員として、積極的に活動され、シルバー事業発展のため、ご尽力いただいた28人が表彰されました。

平成28年度事業報告では、会員数が前年度と比較し12人増の902人、契約金額は、対前年比10



理事長あいさつ

1・3%増の5億9306万円となりました。

また、平成27年から取り組みを始めた、シルバー派遣事業では、運転業務を中心に就業開拓をし、

徐々に実績が上がっています。最重要課題としていた「安全就業」では、事故件数が10件で、事故を減少させることができず課題を残しました。

同じく収支決算報告では、各種計算書類や財産目録等について報告され、監事から適正であったとの監査結果が報告されました。なお、監事から、事故が多いので、事故撲滅に向けての取り組み強化と、就業報告書の早期提出をとの補正意見がありました。

平成29年度事業計画では、会員の願いや地域の期待に添えていくため、常に地域の要望や多様な高齢者の就業ニーズを的確に捉え、シルバー事業の基本である請負就業に力を入れて、シルバー派遣の特性を活かし、新たな分野への積極的な就業開拓による職域拡大や会員拡大を推進するほか、安全・適正就業の推進、財政基盤の強化にも取り組みることが確認されました。

とりわけ、会員の拡大が重要であり会員一丸となった取り組みが必要です。

安全・適正就業委員会だより

安全は優先する

第1回安全・適正就業委員会を開催

6月27日に開催し、4項目の協議を行いました。

第1として、本年度の「安全・適正就業対策推進計画」について重点目標を『重篤事故の撲滅、事故件数の減、及び健康管理』と決定し、無事故を目指します。

「安全は全てに優先する・けがをしない、させない」

1. 安全ミーティングの完全実施
2. 安全装備使用の徹底
3. 健康診断受診及び健康体操の奨励

4. 交通事故防止

平成28年度は、傷害事故5件、交通事故5件、賠償事故2件が発生して前年度と比較して事故件数は2件減少しましたが、1ヶ月以上入院の重篤事故が3件発生しています。いずれの事故も少し注意すれば防げるものです。

第2として、7月の全国安全・

健康体操講習会（安全講習会）「自宅でできる運動」

定時総会に合わせ、総会開始前に「健康体操講習会」を開催しました。講師に、安曇野市健康推進課の横山健康運動士から「自宅でできる運動」と題して実技を交えた講演をしていただきました。安全就業には会員自らが健康でなければいけません。今講習会で受けた健康体操を実践しながら、事故防止につなげていただきたいと思います。

表彰者一覧 おめでとうございます

《会員表彰者》

会員表彰（77歳以上で、過去5年間に100日以上就労し、センターの事業活動に積極的に寄与した者）

地区名	氏名
豊科	藤沢 桂子
〃	茅野 祐子
〃	白澤 静子
〃	山田 裕也
〃	岩倉 豊夫

豊科	横山 美恵子
穂高	原 昶
〃	大月 実枝
〃	高嶋 昇
〃	中村 敏之
〃	松井 石雄
三郷	丸山 すみ子
〃	胡桃沢 洋子
〃	坂井 恒
〃	浅川 浩
〃	中嶋 一
〃	曾山 栄子
〃	小淵 安紀
〃	丸山 ミチ子
〃	伊藤 ノリ子
〃	青柳 喜孝
〃	鹿川 祥彰
明科	松村 榮逸
〃	山越 辰弥
〃	平林 恵子
〃	青木 けさ子

(敬称略)

役員表彰（2期以上にわたり役員として、センター事業の発展に寄与し退任した者）

役職名	氏名
理事	有賀 朝一
職域班長	橋本 富之

(敬称略)

適正就業強化月間について本年も全国統一スローガン「見逃すなヒヤリで済んだ あの体験」を取り組むことが確認されました。

第3として安全パトロールについて7月中に5地域で剪定現場・除草現場で実施することが決まりました。

第4として、刈払機安全操作講習会の開催について国営アルプスあづみの公園で行うことが決まりました。

安全・適正就業「標語」応募について

シルバー人材センターの会員が就業中に事故に遭遇したり、巻き込まれる事態が発生しています。安全で適正な就業はみんなの願いです。会員自らの健康状態や能力に応じて仕事を選択し、健康の維持、安全の確保を図りつつ仕事を遂行することを求められています。安全の確保、適正な就業について、高齢者ならではの心構え、

取り組み、集団での安全啓発を図り、意識の高揚を図り、事故の撲滅を図るための県シ連主催の「標語」を募集したところ、14名の会員より力作28作品が寄せられました。応募いただいた皆様には感謝申し上げます。県シ連に送りますので、優秀作品として表彰されることを祈っています。

熱中症にご注意

いつでもどこでも誰でも条件次第で熱中症にかかる危険性がありますが、熱中症は正しい予防法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができます。

対策1 日頃から、暑さに負けない体づくりを続けよう

① 「水分をこまめに取る」

喉が渇いていなくても、こまめに水分をとりましょう。

② 「塩分をほどよく取る」

過度に塩分をとる必要はありませんが、普段の食事を通してほどよく塩分を取りましょう。

③ 「睡眠環境を快適に保とう」

室内温度を気にかけて、寝ている間の熱中症を防ぐと同時に、日々ぐっすり眠ることで翌日の熱

中症を予防しましょう。

対策2 日々の生活の中で、暑さに対する工夫をしよう

① 「気温と湿度をいつも気にしよう」
室内では、扇風機やエアコンで室温を適度に下げ、屋外では日差しを遮ったり風通しを良くすることで、気温や湿度が高くなるのを防ぎましょう。

② 「着る物を考えよう」

麻や綿など通気性の良い生地を選び、下着は吸水性や速乾性にすぐれた素材を選びましょう。

③ 「日差しを避けたり、冷却グッズも活用しよう」

帽子や日傘の活用やなるべく日陰を利用して直射日光をよけましょう。

冷却シートやスカーフなど利用しましょう。特に首もとなど太い血管が体の近くを通っているところを冷やすと効果的です。

対策3 炎天下での作業や空調設備のない場所では特に注意しよう。

- ① 「飲み物を持ち歩こう」
- ② 「休憩をこまめにとろう」
- ③ 「テレビやラジオなどで報道される熱中症注意報を気にしよう」



第 20 回安曇野玉ねぎ祭り記念セレモニー

今年度から、就業機会の拡大を目的に、当センター独自事業として取り組んでいます玉ねぎ栽培の収穫が5月末から始まりました。会員向けに6月7日販売を行い、6月10日・11日の両日、20回になります安曇野玉ねぎ祭りに参加しました。昨年同様豊科保健センターでは直売を、堀金中堀の圃場では、10日のみ収穫体験と直売を行い市内外、県外からの購入者でにぎわいました。

第20回安曇野玉ねぎ祭り参加

今年の玉ねぎは、若干小ぶりでありましたが、消費者に大変好評で完売となりました。

本来 は、刃物研ぎが得意なお宅に訪問し、刃物研ぎを行っています。依頼者と会話をしながら、依頼者の納得するまで研ぎあげることから、依頼者からも大変喜ばれています。なお、ステンレ

現在 は、豊科駅の駐輪所の整理を、毎朝1時間行っています。早朝の業務ですが、利用者から声をかけられることが、とてもうれしいと思っています。



伴野 武司さん

会員紹介

伴野 武司さんはシルバー人材センターに登録し、8年になります。少し強面ですが、やさしさ

平成28年度 地区懇談会開催



三郷地区懇談会

当年度の事業経過、次年度の事業計画などの情報交換と事務局と会員との情報交換の場としての地区懇談会が開催されました。

豊科地区	3月7日	53名
穂高地区	3月15日	56名
三郷地区	3月2日	63名
堀金地区	3月4日	49名
明科地区	3月9日	48名

剪定講習会開催される

剪定シーズン前に、「安全作業をするための知識向上」と「樹木の剪定技術向上」を目的に、3月11日(土)豊科保健センターにおいて、33名の会員が参加し開催されました。講師には、豊科造園組合から3名の講師を招き、松・樫の木で梯子や脚立の立て方、固定の仕方や、剪定の実習を行いました。昨年剪定では事故が起きています。就業前のミーティング、現場点検等を必ず行い、十分注意をお願いします。



剪定講習会

りんご作業講習会を開催



りんご作業講習会

今年度も、安曇野市農業再生協議会とJAあづみの協力を得て、りんご作業講習会を開催しました。第1回目は4月25日(火)に花摘み講習会を32名の方に参加していただき、また、2回目は5月12日(金)に、摘果講習会を26名の方に参加していただき開催しました。講師には、JAあづみ果実課石曾根課長代理をお願いしました。今年は、寒さの関係か1週間から10日くらい遅れているというので、少々定期的に早かったわけですが、熱心に受講していただきました。りんご作業をしていただける方が大変不足しています。

岩崎 久子さん は、皆さんの仲間に、8ヶ月が過ぎようとしています。

岩崎 久子さん



刃物 研ぎが知られていないのか、仕事がなかなか来ないのが現状で、さまざまイベント等あればそこの実演もしながら、知名度を上げて行きたいと言っています。

その他、黒文字の木を使った、ペーパーナイフや菓子用の楊枝も器用に作ります。

穂高老人保健センターが閉館

平成27年度から当センターが安曇野市から指定管理者として管理を委託されています、穂高有明の「穂高老人保健センター」が老朽化に伴い本年9月30日で閉館することになりました。指定管理者として管理業務を行っていただいた会員の皆様には感謝とご慰労申し上げます。あと2ヶ月余りとなりましたが、会員の皆様にも最後までありますので是非ご利用をお願いします。



仕事

の内容は、明科公民館の管理業務です。大勢の利用者とお話をし、楽しくお仕事させていただけます。でも、先日、少しシヨックなことがありました。仕事をしていると、壁の向こうから「女の人だよ」という声が聞こえてきました。私は、「え？今の時代そういうこと言うの？」と思いましたが、「まあ、いいか」と思い直し、がんばっています。

私は

、いままで「シルバーの人たちって、よくやってくれるよね」と、他人事のように言っていました。が、シルバーの仲間に入れていただいていたから、いろいろな事を教えていただいたり、会員同士の会話もでき、とてもプラスになり、うれしく思います。これからも、よろしくお願いたします。



事務局だより

職員の異動

退職 (3月31日付)

事務局長 有賀 朝一
 業務担当 松岡 寛
 業務担当 熊井さえ子

異動 (4月1日付)

事務局長 赤羽 孝明

採用 (4月1日付)

総括係長 中村 芳朗
 業務担当 等々力悦子

新職員の紹介



中村 芳朗

4月から
シルバ－
人材センタ
ー職員とし
て総括係長

を、また、6月から豊科地区担当
を兼務しています。

総括係長としての仕事は、安全・
適正就業委員会やシルバ－農園、
穂高老人保健センター指定管理業
務など多岐にわたり解からない事

ばかりで会員の皆様にはご迷惑を
おかけしています。

豊科地区は、草刈り・草取り・
剪定・官公庁をはじめ事業所の依
頼も多く、内容も地理もわからな
く戸惑っています。

今後は、早く仕事を覚えて、会
員の皆様の希望に応えられるよう
頑張りたいと思いますので皆様の
ご指導をよろしくお願いいたしま
す。



等々力悦子

4月から
業務担当を
しています。
連日就業依
頼の電話が

ひっきりなしにあり対応に追われ
ています。市民の皆様が、いかに
シルバ－人材センターを頼りにし
ているか感じています。

また、会員の皆さんが、依頼に
応えるため一生懸命にお仕事され
ていることに感謝しています。

私も早く仕事を覚え、的確に対
応出来るようになりたいと思いま
すのでよろしくお願いいたしま
す。

配分金の振込日

- 7月分は8月18日 (金)
- 8月分は9月20日 (水)
- 9月分は10月20日 (金)
- 10月分は11月20日 (月)
- 11月分は12月20日 (水)
- 12月分は1月19日 (金)

就業報告書の提出 についてのお願い

就業後速やかに、各地区社会福
祉協議会様に設置してあります、
シルバ－メールボックス又は、事
務局へ就業報告書の提出をお願い
します。

締め切りまでに提出されませ
んと、配分金が1ヶ月遅れますので
宜しくお願いいたします。

お悔やみ

福井 重治様 平成29年2月18日
ご逝去を悼み、心よりご冥福をお
祈りいたします。

編集後記

北朝鮮の核・弾道ミサイル開
発で不安を感じるこのごろです
が、ドイツで世界卓球選手権が
行われ、男子ダブルスでイケメ
ンの二人が48年ぶりに銀メダル
を獲得、史上最年少の13歳の張
本選手も大活躍した明るいニュ
ースがありました。

シルバ－だより55号を発行す
るにあたり、写真・原稿などご
協力いただきありがとうございます
でした。

調査広報部会では、これから
も皆様に親しまれる内容を目指
します。写真・短歌・俳句
など何でも結構です。お寄せ
ください。

会員の皆様が健康で事故もな
く就業されることを願っていま
す。

嶋崎紘次、小林義明
那須野卯久、北林幹男